

まちの話題



多くの品揃えのバザー

夏恒例のイベント

セルプひの夏まつり

障害がある人たちの通所施設、セルプひの（根雨）による夏まつりが、8月11日に、同施設前広場で開かれました。
これは、地域の人たちと触れ合うことで施設のことを知ってもらい、また日ごろの支援に感謝しようとする年開かれています。夏休み中の子どもたちを対象にした工作教室や、かき氷、焼きうどんなどのバザーのほか、町民ミュージカル出演者による歌など、多くの催しが行われ、地元の人たちでにぎわいました。

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。
★役場企画政策課まで（電話72-0332）

満天の星に感動

星穴工観望会

8月12日、手作り望遠鏡で星を観る星空観望会が、町役場前駐車場で開かれ、お盆の帰省客など約30人が参加しました。

当日は雲が少なく、星がよく見える絶好の天気。日野町出身の仲田和夫さん（大阪府）自作の天体望遠鏡のぞいたりしながら、夏の星座や北斗七星、天の川や夏の大三角などを観察しました。

また、ペルセウス座流星群が最接近するということもあり、参加者は興味深く星空を見上げていました。



仲田さん（中央白い服）の解説を聞きながら観察

地域みんなで楽しむ

上本郷盆踊り

8月14日、今年で20回目となる上本郷盆踊りが開かれ、地区住民のほか、帰省客ら合わせて約80人でにぎわいました。

13日には、上本郷地内の川で魚つかみも行われ、子どもも大人も歓声を上げながら魚をつかんでいました。

14日の夜、上本郷運動広場で開かれた盆踊りでは、かき氷や焼きそば、金魚すくいなどの屋台が軒を連ねました。また、花火大会、カラオケ大会、ビンゴゲーム大会でも盛り上がりしました。最後は揃っての盆踊りで、久しぶりの再会を喜ぶ姿も見られました。



子どもたちもカラオケに参加

願い込めて飾り付け

日野国際交流協会七夕会

8月4日、日野国際交流協会（小谷博徳会長）による七夕会が、山村開発センターで開かれました。

日本の文化を体験してもらおうと開いた、七夕から約一月遅れのこの会には、町内の子どもからお年寄りまで20人が参加。短冊に願い事を書いたり、折り紙などの飾りを一緒に作り、竹笹に結んですてきな七夕飾りが出来上がりました。

そのあと、七夕にちなんだ歌を歌ったり、紙芝居やハンドベルを楽しみました。

また、この日出来上がった七夕飾りは、町図書館に飾られました。



七夕飾りの前で記念撮影

ロマンを感じる明かり

鏡山城址をライトアップ

江戸時代初期に関一政が築いた鏡山城（黒坂）の築城400年を記念して、鏡山城址を照明で照らすライトアップが、8月14日に行われました。

これは、城址の保存・活用を行っている、黒坂鏡山城下を知ろう会（牧智也会長）が主催したものです。関家の家紋入りののぼりを立てた城址が明かりに照らされ、辺りは幻想的な雰囲気にも包まれました。

また、ライトアップがよく見える黒坂駅前広場では、地酒などのバザーが行われたほか、繪の会と恩田箏教室による箏の演奏も披露され、訪れた人たちは音色に聞き入り、昔に思いをはせていました。



8月13日から3日間のぼりが立てられました。

明かりに誘われて

燈籠まつり



今年で3回目の盆夜市。大勢でにぎわう

根雨のまちなかに灯籠250個を灯す「燈籠まつり（町商工会盆灯籠装飾実行委員会主催）」が、8月13日から15日までの3日間行われました。

期間中は、日暮れと共に、通りに置かれた手作りの灯籠に明かりが灯されて根雨のまちが風情ある景色に変わり、まちの人たちもお盆の雰囲気を楽しんでいました。

また、14日の夜には、山陰合同銀行根雨支店横で盆夜市が開かれ、かき氷やたこ焼きなどのバザー、屋外ライブやビンゴゲームなどのさまざまな催しが行われました。

会場は帰省客らでにぎわい、久しぶりの再会を喜ぶ姿も見られました。

瀬田さんアユ釣り日本一に

鮎マスターズ全国決勝大会

全国のアユ釣り名人が腕を競う、ダイワ鮎マスターズ全国決勝大会（ダイワ精工主催）が、8月28日～30日の3日間、栃木県的那珂川で開かれ、出場した瀬田匡志さん（安原）が見事優勝を収めました。この大会は、全国の各ブロック大会を勝ち抜いた16人の選手で行われ、瀬田さんは予選から決勝まで合計49尾を釣り上げました。

瀬田さんは、「日野川での西日本ブロック大会は、地元ということでプレッシャーが大きかったですが、那珂川は未知の場所。緊張せずにできたのが良かったと思います。クラブや地域の皆さんが支えてくださり応援いただいたおかげで自信を持ってできました。これから、日野川がこれからもきれいな川であるよう、できることから協力したいし、謙虚に技術向上に励みたい」と話しました。



優勝トロフィーとカップを手に

すすめよう交通安全

交通安全キャラバン隊来町

9月2日、全国交通安全母の会連合会による交通安全全国キャラバン隊5人が日野町を訪れ、ひのっこ保育所（津地）で歓迎式が行われました。式典には、町交通安全母の会の会員や関係者ら約60人が参加し、キャラバン隊を迎えました。

キャラバン隊長の佐々木周子さん（根雨）は、「国民一人一人が交通ルールを守り、子どもや高齢者に対する思いやりの心を持って行動することが大切」と、内閣府特命担当大臣からのメッセージを読み上げました。このほか、保育所園児らによるアトラクションや、黒坂警察署による交通安全指導なども行われました。



歓迎してくれた園児たちにお礼の言葉